



クローズアップ
CLOSE UP

利根川新橋への期待高まる

9月23日、利根川新橋シンポジウム「新橋は前橋と玉村を変える！」を開催。前橋工科大の森田哲夫さんと前橋赤十字病院の町田浩志さんの講演の後、パネルディスカッションを実施しました。利根川新橋が整備され、本市の南部地域が国道354号バイパスなどと直結することで、移動時間の短縮や輸送費用の縮減が実現。これによる工業や商業への経済効果と医療の向上は、本市にとって新たな飛躍になると登壇者たちは議論し、山本市長も「力強く取り組んでいきます」と話しました。



いきいき
まえばし人
nunology 代表
山田俊介さん・46歳
千代田町二丁目

亡き妻から託された宿題



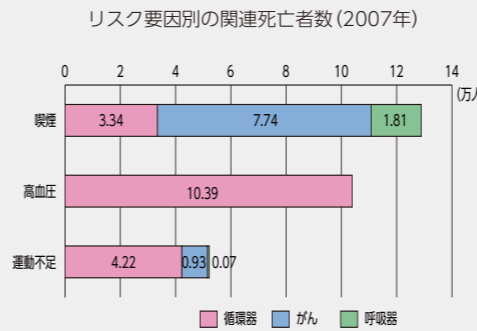
県地域・まちなか活性化応援事業の公開プレゼンで優秀事業プランに選ばれた山田さん。発表した内容は、リンパ浮腫の患部を覆うシート＆ホルダー「とりこっとな」だ。「今年5月、妻をがんで亡くしました。最期の3カ月、リンパ浮腫滲出に苦しんだのですが、体液の吸着のために医師からペット用のトイレシートを勧められたんです。対処法として一般的のようですが嫌な気持ちになって。タオルやハンカチではうまくいかず、布ナプキンアドバイザーの先生に相談してとりこっとなの試作を始めました」

の物を見せられないまま、妻は亡くなってしまった。「葬儀などが終わったころ、リンパ浮腫専用の布製品を作ることが、亡き妻から託された宿題なんだと思い出して。布ナプキンアドバイザーとアロマスタイリストと私の3人で、完成に向けて再始動しました」

優秀事業プランに選ばれたことで各所から声が掛かり、直近では10月27日(日)のめぶくフェスに出展予定。来年1月15日(水)からはクラウドファンディングに挑戦する予定だ。「商品化の時期は未定ですが、一周忌の時に妻に報告したいですね」

今年も赤城舞台に熱戦

9月29日、今年もまえばし赤城山ヒルクライム大会を開催。3,000人を超える参加者が、赤城山で己の限界に挑戦しました。また、ミシュラン都市の国際ネットワークに本市が加盟していることをきっかけに、ミシュランのマスコット、ミシュランマンも登場しました。



市の健康増進計画健康まえばし21に基づき、健康づくりの重点課題を紹介するこのコーナー。今回のテーマは「たばこ」です。喫煙は、がんや循環器、呼吸器の病気を引き起こす要因になります。喫煙は日本人の疾病と死亡の原因として高血圧や運動不足

カラダにいいこと
プラスワン +1
Vol.4 たばこ

健康増進課
☎ 027-220-5783

健康まえばし21



撮影 木暮 伸也



歴史呼び覚ます美術展

9月7日から23日まで、総社町の旧本間酒造で美術展「ソウウレシ」を開催しました。まえばし市民提案型パートナーシップ事業として前橋にゆかりのあるアーティストが、それぞれの視点で本間酒造を調査し手がけた作品を展示。関連行事も行いました。



禁煙外来情報はこちらから

たばこの害が気になる人や家族のためにたばこをやめたい人、禁煙に興味がある人は、禁煙外来や保健師に相談してください。

また、市では保健師が禁煙サポートをする禁煙チャレンジ塾を開催しています。詳しくは本紙17ページをご覧ください。

足など他のリスク要因を抑え、最も高くなっています。たばこをやめたくてもやめられない。そんな時は、禁煙外来の利用を。禁煙外来では、医師の診察により禁煙補助薬を処方。処方される飲み薬は、たばこをおいしくないと感じさせる作用があり、より楽に禁煙することができます。



加熱式たばこにも有害物質が含まれます。